

NEWS CLIP & AV MATERIAL

● ニュースクリップ&映像教材



■「地上デジタルテレビ放送への完全移行に伴う学校のテレビのデジタル化について」文部科学省・総務省が通知

平成23年7月の地上デジタルテレビ放送への完全移行に向けて、文部科学省では、これまでデジタルテレビ等を活用した先端的教育・学習に関する調査研究事業等を実施し、デジタルテレビの学習効果等の有用性を実証してきた。それを踏まえ、このたび文部科学省生涯学習政策局参事官・総務省情報通信政策局地上放送課長名で、各都道府県教育委員会教育長へ標記文書を通知した。通知文書については、<http://www.chidigi.jp/> (左)を参照。

NEWS CLIP

協会情報

■平成20年度(第35回)「全国自作視聴覚教材コンクール」に124作品が応募

(財)日本視聴覚教育協会主催、文部科学省後援による標記コンクールの今年度の参加作品は、124作品にのぼった。内訳は以下の通り。

〈部門別〉 小学校部門(幼稚園を含む) 41作品
中学校部門12作品 高等学校部門5作品 社会教育部門66作品

〈種別〉 ビデオ77作品 CD-ROM27作品 スライド2作品 紙しばい17作品 TP1作品

を中心に始まった取り組みであり、今年も、各府省庁等が職場見学や業務説明等を実施する。

〈日程〉 平成20年8月20日(水)・21日(木)

〈対象〉 全国の小・中学生(原則、保護者同伴)

〈内容〉 27府省庁(内閣府・文部科学省・総務省・財務省・警察庁他)ごとの特色を生かし、子どもたちを対象にさまざまプログラムを設けている。

〈参加申し込み〉 事前申し込みが必要なプログラムと、当日でも参加できるプログラムがあるので、詳細は文部科学省のホームページにて確認。

<http://www.mext.go.jp/>

〈問い合わせ先〉 文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課 TEL03-6734-2092

文部科学省情報

■平成20年度「子ども見学デー」実施

「子ども見学デー」は、子どもたちが親の職場を見学すること等を通して、親子のふれあいを深め、広く社会を知る機会とするため、文部科学省

研究会情報

■ ICoME2008 (The International Symposium and Conference for Educational Media in School in 2008)

「ICT for Future Education」というテーマで、

Korean Association for Educational Information and Media (KAEIM) と、Japan Association for Educational Media Study (日本教育メディア学会) の協力により、韓国と日本のICT教育について研究協議が、下記のように開催される。

〈日程・場所〉平成20年8月25日(月)～27日(水) 関西大学高槻キャンパス(大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1)

〈内容〉詳細は、<http://icome2008.ict-education.org/japanese/index-jpn.htm>を参照。

〈問い合わせ先〉関西大学高槻キャンパス 久保田・黒上研究室 TEL072-690-2419

■「全国コミュニティシネマ会議2008 in仙台」

(財)国際文化交流推進協会他主催による標記会議が下記の要領にて行われる。この会議は、映画祭関係者、公共ホール、美術館、図書館の映像担当者、自治体の文化事業担当者らが集まり、「映画を見せること」を行っている人々の情報交換と研究討議の場となっている。

〈日時〉平成20年8月29日(金) 13:45～18:10、同30日(土) 10:00～15:00

〈場所〉せんだいメディアテーク(仙台市青葉区春日町2-1)

〈会議参加料〉仙台市在住の方、団体は、会議参加無料(先着50名要事前申込)。ただし、上映会等参加の場合は別途入場料が必要。レセプション3,000円、上映1プログラム1,000円(当日受付)。
〈申し込み・受付期間〉8月6日(水) 10:00～8月22日(金) 17:00まで。メールまたはファックスにて。

〈内容〉基調講演、プレゼンテーション・ディスカッション、分科会「映像学芸員—資格の新設とその目的」「子どものための映画映像教育」等

〈問い合わせ先〉せんだいメディアテーク「全国コミュニティシネマ会議in仙台」係

TEL022-713-4483 FAX022-713-4482

E-mail office@smt.city.sendai.jp

コンクール情報

■「第4回マルチメディアティーチングコンテスト」(国際大会フォーラム日本国内予選会)開催

東京学芸大学と(独)メディア教育開発センターでは、東アジア地域を中心とした小・中・高等学校、高専、大学の教育現場におけるマルチメディアを利用した学習教材の開発・利用を支援し、その国際的発展の促進を目的に標記コンテストを実施する。
〈募集対象〉「教室」を中心とした教育現場での利用を目的としたもので、マルチメディア学習教材を活用することで、授業をより魅力的にするための教材を対象とする。教科は指定しない。

〈応募資格〉東アジア地域の小・中・高等学校、高専、大学及び語学学校、専門学校、国外の補習校等の教育研究機関の教師及び将来教師をめざす学生。個人、団体を問わない。

〈表彰〉最優秀賞、優秀賞、佳作等を選定。最優秀者には、タイで行われる国際大会フォーラムへ日本代表として招待(旅費等はコンテスト実行委員会が負担)。

〈応募締め切り〉平成20年8月31日(日)

〈応募先及び問い合わせ先〉第4回マルチメディアティーチングコンテスト事務局

E-mail contest@u-gakugei.ac.jp

短 信

■ 文部科学省生涯学習政策局長加茂川幸夫氏が辞職し、後任には清水潔氏(高等教育局長)が就任した。

■ 財団法人コンピュータ教育開発センターでは、理事長に、赤堀侃司氏(東京工業大学教授)が就任した。

■ 映機工業株式会社では、代表取締役社長に、川端清治氏が就任した。

AV MATERIAL

文部科学省選定作品

■ 6月選定 〔紙〕紙しばい／〔E〕ビデオ／〔D〕DVD

「**かるがもキュウちゃん**」〔紙〕8枚(幼稚園/幼児、教養)(株)童心社

「**たなばたのおはなし**」〔紙〕12枚(小学校(低学年))(株)童心社

「**お金の使い方 第一歩**」〔D〕15分(小学校(高学年)、家庭・特別活動/少年、家庭生活(家庭の消費生活))(株)放送映画製作所東京支社

「**買い物名人になろう**」〔D〕11分(小学校(高学年)、

家庭／少年、家庭生活（家庭の消費生活）（株）
放送映画製作所東京支社

「見上げた青い空」 ㊦34分 〈中学校、特別活動／
少年・青年、地域社会生活（人権）〉（財）人権教育
啓発推進センター

「サラリーマンライフ ～ろう者と聴者が共に働
く職場づくり～」 ㊦45分 〈中学校・高等学校、
特別活動・福祉／青年・成人、職業生活一般（経
営と労働）〉 Studio AYA

特選「海の恵みと日本人シリーズ 青魚 アジ・
サバ」 ㊦34分 〈高等学校、水産〉（株）CNインタ
ーボイス

「社会福祉施設等における人権 私たちの声が聴
こえますか」 ㊦30分 〈青年・成人、地域社会生
活（人権）〉（財）人権教育啓発推進センター

放送番組・web配信

中学生日記

（土）19:15～19:44／NHK教育

翌週（土）14:00～14:29／再放送 NHK教育

※都合により番組内容が変更となる場合があります。

〈アンコール放送〉

■2日「少年は虹の空をかける」

（平成20年6月14日放送分）

■9日「マドンナを救え！」

（平成20年6月21日放送分）

■16日「キャッチボール」

（平成18年9月18日放送分）

■23日 中学生日記プレーバック「神様の住む
島」

（平成18年9月11日放送分）

■30日 特別企画【“謎の？”転校生】「ボクの
秘密と彼女のウソ」（仮）前編

発見！人間力

※放送曜日・時間は地域によって異なります。

〈放送についての問い合わせ〉

（財）民間放送教育協会 TEL03-6406-2171

■14回 2日「俺は不屈の家具職人」

藤井了さんはこの道56年の家具職人。材料の
選び方、管理、作り方すべてにおいてこだわりを
見せる彼の姿勢は業界でも一目おかれ、その技術

を学ぼうと若い職人が訪れる。藤井さんの生き様
をカメラが追う。（静岡放送）

■15回 9日「プラスの輝き街に響け！～ブラ
スアンサンブル輝響～」

ステージ数日本一を目指す福島市のアマチュア
プラスアンサンブル「輝響」は、2004年に15人
のメンバーが集まって結成された。彼らの華やか
なサウンドが、地域で活躍する人々の応援歌とし
て響き渡る。（福島テレビ）

■16回 16日「ふるさとは男鹿 鬼の太鼓」

秋田県男鹿市の伝統行事「なまはげ」を盛り込
んだ「なまはげ太鼓」は、県内外はもちろん海外
でも披露されるようになった。その一つ「なまは
げ郷神楽」は2004年のドラマ・フェスティバルで
「ザ・ベスト・ポピュラー賞」を受賞。彼らを取り
巻く環境は大きく変わりつつある。（秋田放送）

■17回 23日「カウロゲの里に夏が来て」（仮）

愛知県豊田市にある山里「カウロゲ」では、
10年前から都会からの移住者を受け入れている。
新しい山里スタイルを模索する、数々の試みを取
材する。（メ～テレ）

■18回 30日「地域の宝、ここにあり！～笑顔
を呼んだ、水車小屋の奇跡～」

過疎の町で地域おこしにかける高家卓範さんは、
そば屋を開店。そば屋を起点に地元の宝物を使っ
て次々と地域おこしを展開していく高家さんの人
間力に密着する。（IBC岩手放送）

エル・ネット

ますます充実「こどもコンテンツ」！

（独）国立青少年教育振興機構が配信の「子ども
放送局」が視聴可能に。

今月の主な新着コンテンツは、下記の通り。
（<http://www.elnet.go.jp>）。

〈1ch 文部科学省から〉

○「発見！人間力（其の5）「和菓子で町おこし」
（（財）民間放送教育協会企画）

〈3ch こどもコンテンツ〉

○「みんなでわいわい 田起こし！田植え！」

○「工作教室 ギョロギョロくんを作ろう」

○「小さな島の大きな文庫 沖縄・竹富島」（（独）
国立青少年教育振興機構制作）